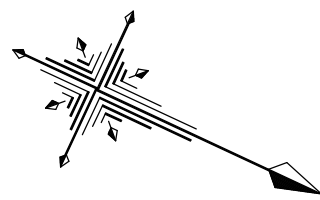
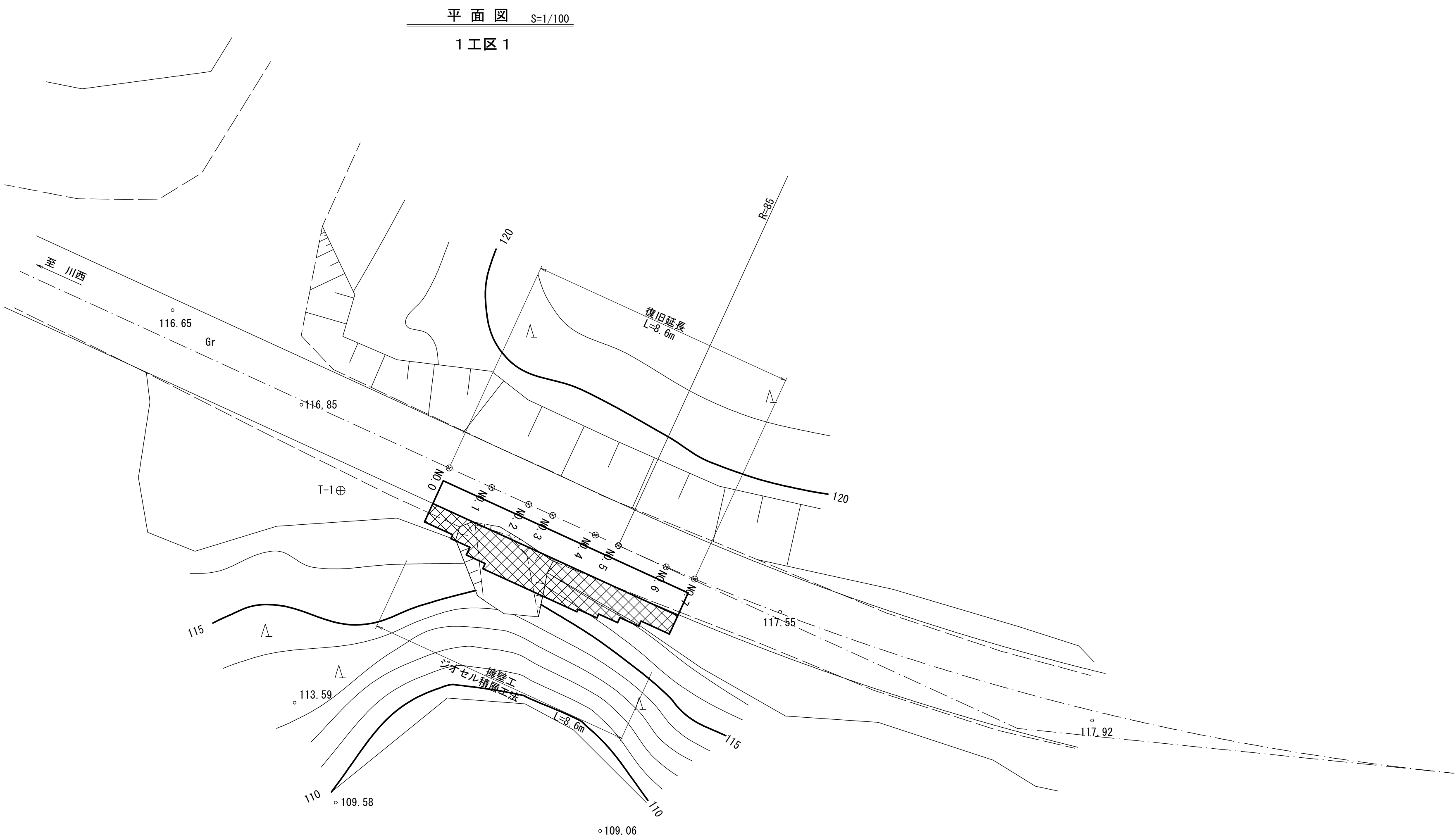
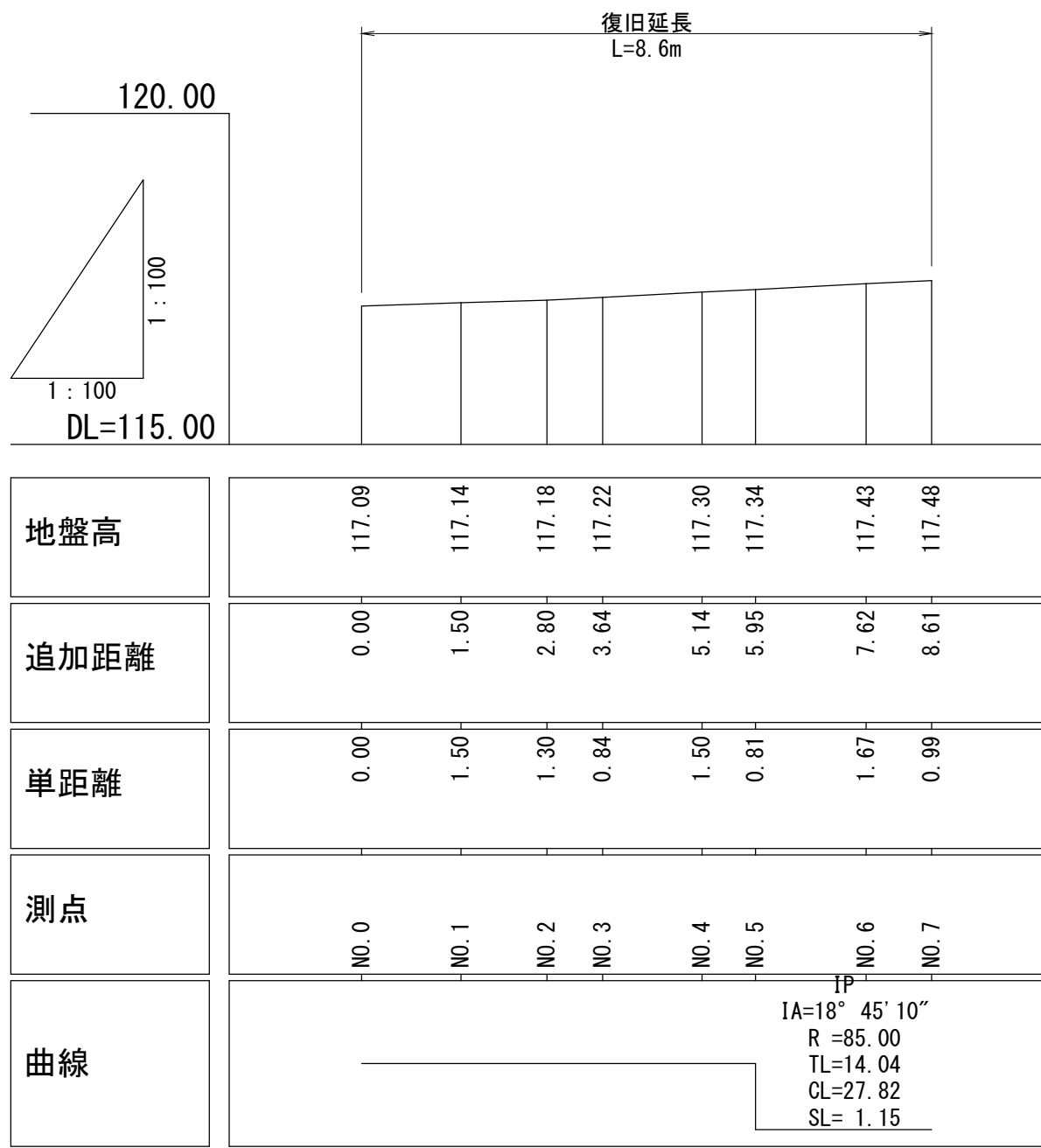


路 線 名	林道間谷線		事 業 名	林道施設災害復旧事業		
林道区分	施業道	級別区分	軽車道	設計速度	20	Km/h
年 度	令 和	年 度	施行主体	南 砺 市		
名 称	平面図・縦断面図		1	葉中	1	番
施 行 地	富山県南砺市川西～和泉地内					
縮 尺	1:100	審 査 者		設 計 者		



縦断面図 H=1/100, V=1/100





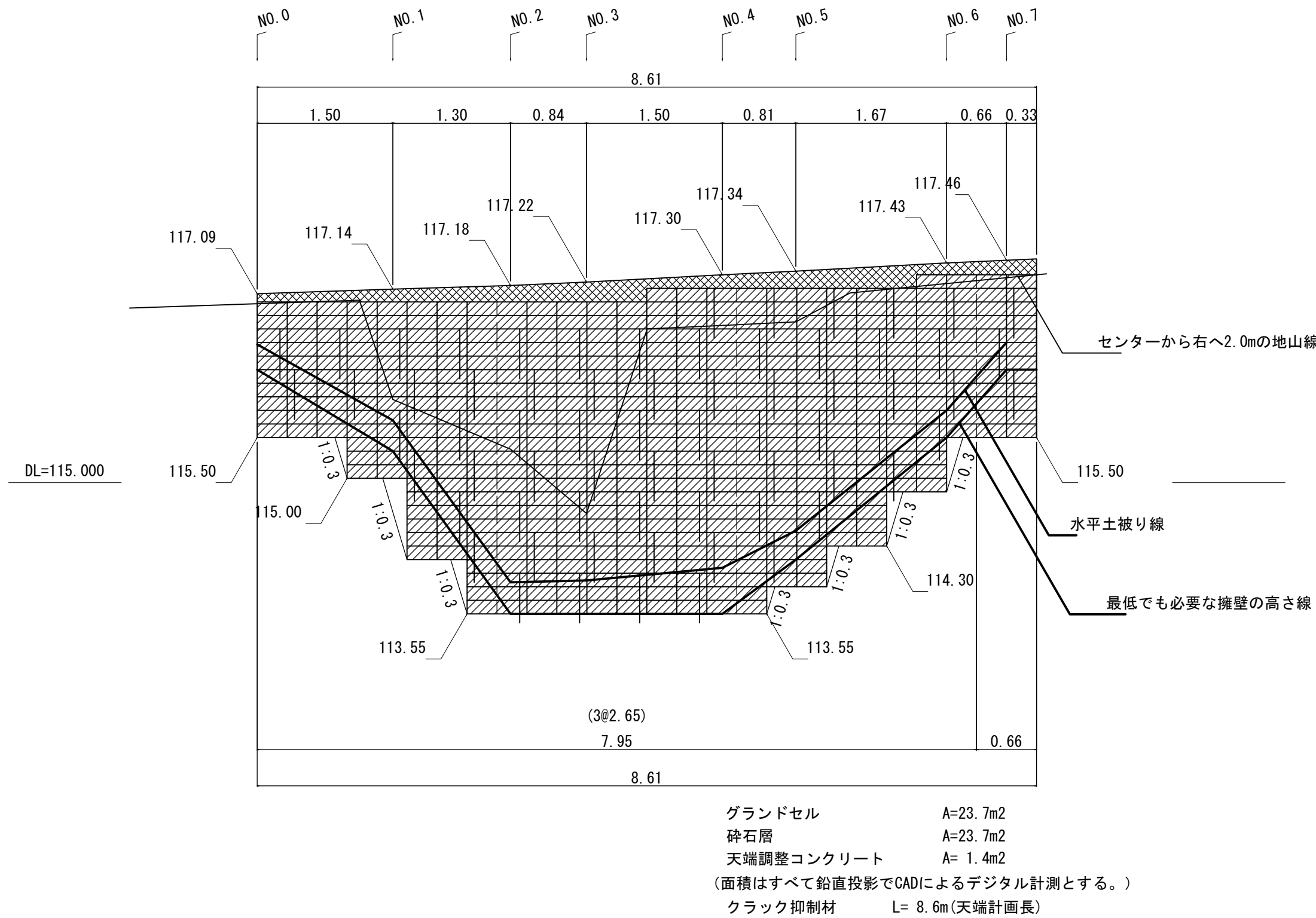
路 線 名	林道間谷線		事 業 名	林道施設災害復旧事業	
林道区分	施業道	級別区分	軽車道	設計速度	20 Km/h
年 度	令 和	年 度	施行主体	南 砺 市	
名 称	位置図・正面展開図・断面図		1 葉中	1 番	
施 行 地	富 山 県 南 砺 市 川 西 ～ 和 泉 地 内				
縮 尺	1:100	審 査 者		設 計 者	

グランドセル工計画図

1 工区 1

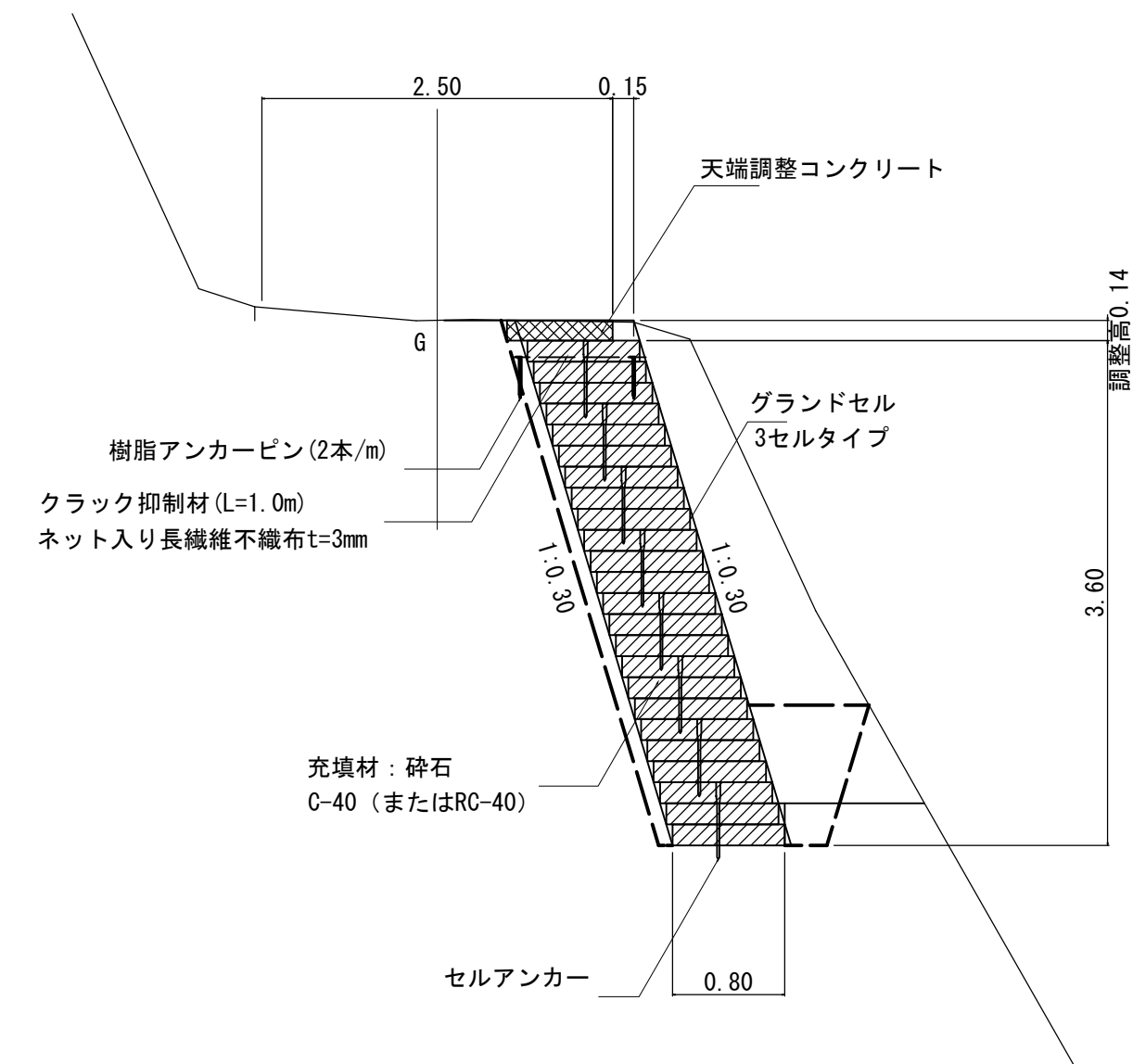
正面展開図

S=1:50



標準断面図

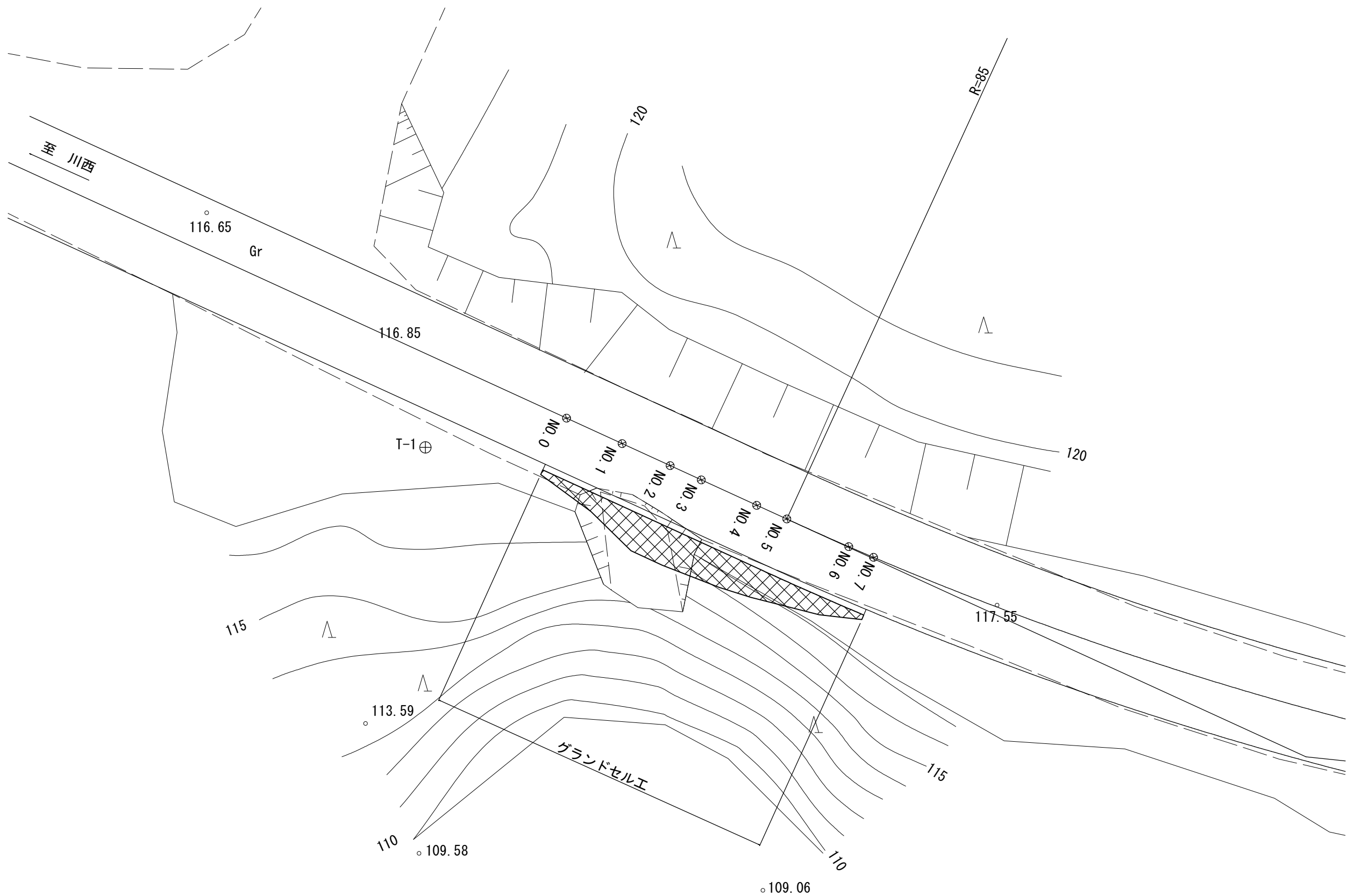
S=1:50



※支持地盤は、調査および試験を行い、構造計算書の支持力を満足すること。

位置図

S=1:100



特記事項	NETIS:KT-090023-VE (期間満了によりNETIS掲載終了)
盛土材料	・セル内の締固め密度管理は、乾燥密度で管理する場合は、最大乾燥密度の90% (路体) 以上を満足すること ・セル外の締固め密度管理は、発注機関で定める基準値を満足すること
基礎地盤	・ジオセル擁壁基礎地盤の支持力確認を行うこと ジオセル必要地盤反力 $q = 105.06 \text{ kN/m}^2$ 以上 ・設計条件通りの地層が掘削時に確認できない場合、支持力確認で必要反力が確保できない場合は、置換え、地盤改良、ジオセルマットレス工などで適切な処置が施された地盤とすること
排水工	・適切な排水処理を施すこと ・予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと ・施工中は、仮排水工を設けるなどジオセル擁壁部へ水を導かないように排水処理を行うこと
安全管理	・安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること
グランドセル相互接続部	・公的機関で接続部の試験を実施している製品とする ・ジオセル製品の接続強度は、製品の溶着強度と同等以上とし 2130N/15cm 以上とする
セルアンカー	・摩擦補助のため打設すること。(安定計算では考慮しない) ・配置図に示す本数を打設すること。 ・壁面の連続性および一体化を促進することを目的とする。
グランドセル表面シート	・エンボス加工の表面シートで耐候性を考慮し、色を黒とする

数 量 表			
項 目	規 格	単 位	数 量
壁面工	直高面積	m <sup>2</sup>	24.9
	3セルタイプL2650×B800	枚	63
グランドセル	セルロック	個	441
	□30×550	本	68
表面排水材	セルドレーン (W=200mm, t=15mm)	m	11.2
クラック抑制材	ネット入り長繊維不織布 t=3mm	m <sup>2</sup>	9.0
樹脂アンカーピン	□20×300	本	53
積雪対策工	RE-1	m <sup>2</sup>	35.9
砕 石	C-40 (またはRC-40)	m <sup>3</sup>	20.9
天端調整コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.1
	縦断管 (φ100有孔管)	m	10.2
	横断管 (φ100無孔管)	m	2.5
	ソケット (φ100用)	個	2
	T字継手 (φ100用)	個	1
地下排水工	キャップ (φ100用)	個	2

※壁面工、裏面排水材、不織布、積雪対策工5%、砕石10%、天端調整コンクリート6%のロス含む。

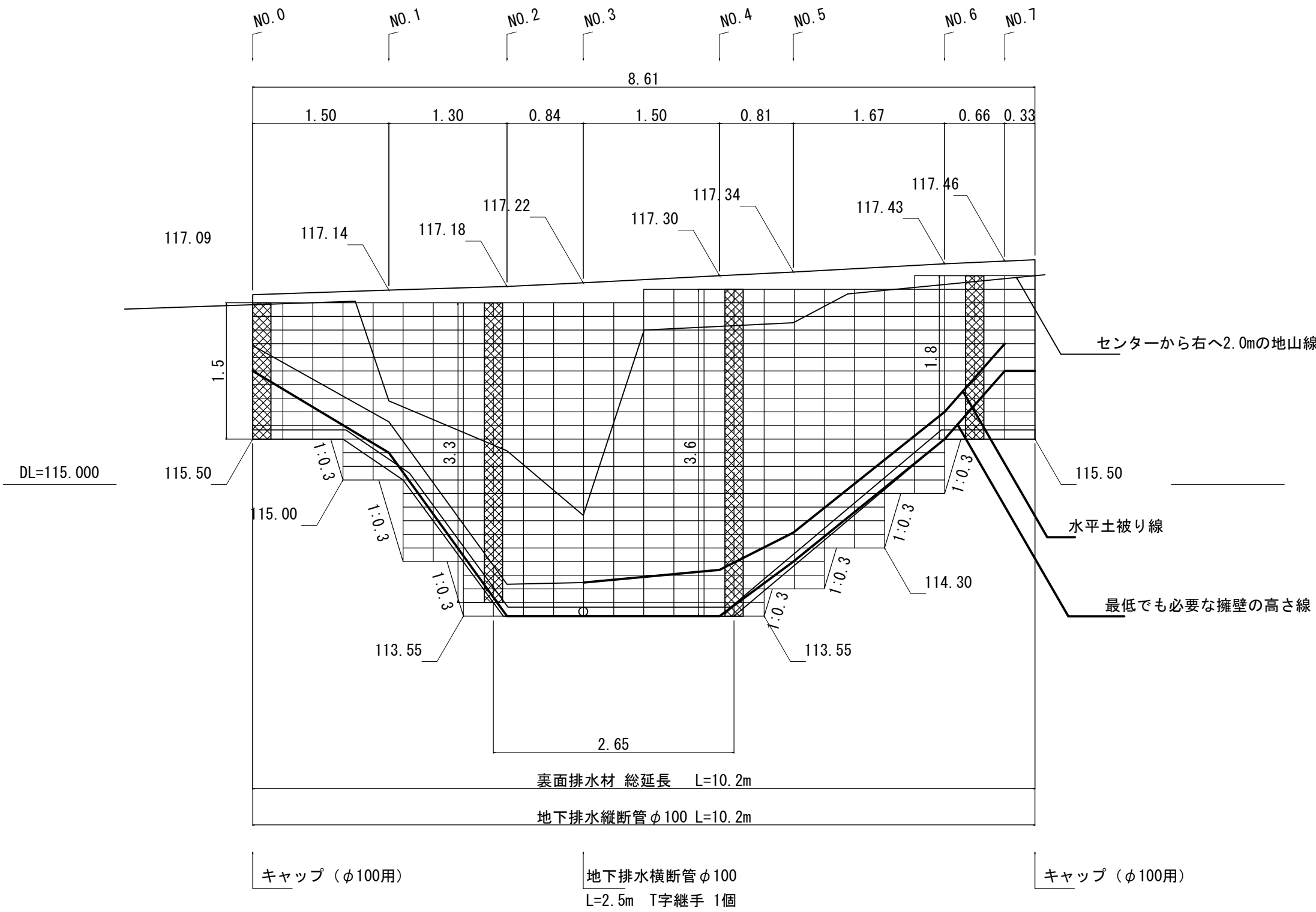
凡 例	
形 状	種 別
	グランドセル
	砕 石 層
	セルアンカー
	天端調整コンクリート

路 線 名	林道間谷線		事 業 名	林道施設災害復旧事業	
林道区分	施業道	級別区分	軽車道	設計速度	20 Km/h
年 度	令 和	年 度	施行主体	南 砺 市	
名 称	グランドセル工排水計画図 1 葉中				1 番
施 行 地	富山県南砺市川西～和泉地内				
縮 尺	1:100	審 査 者		設 計 者	

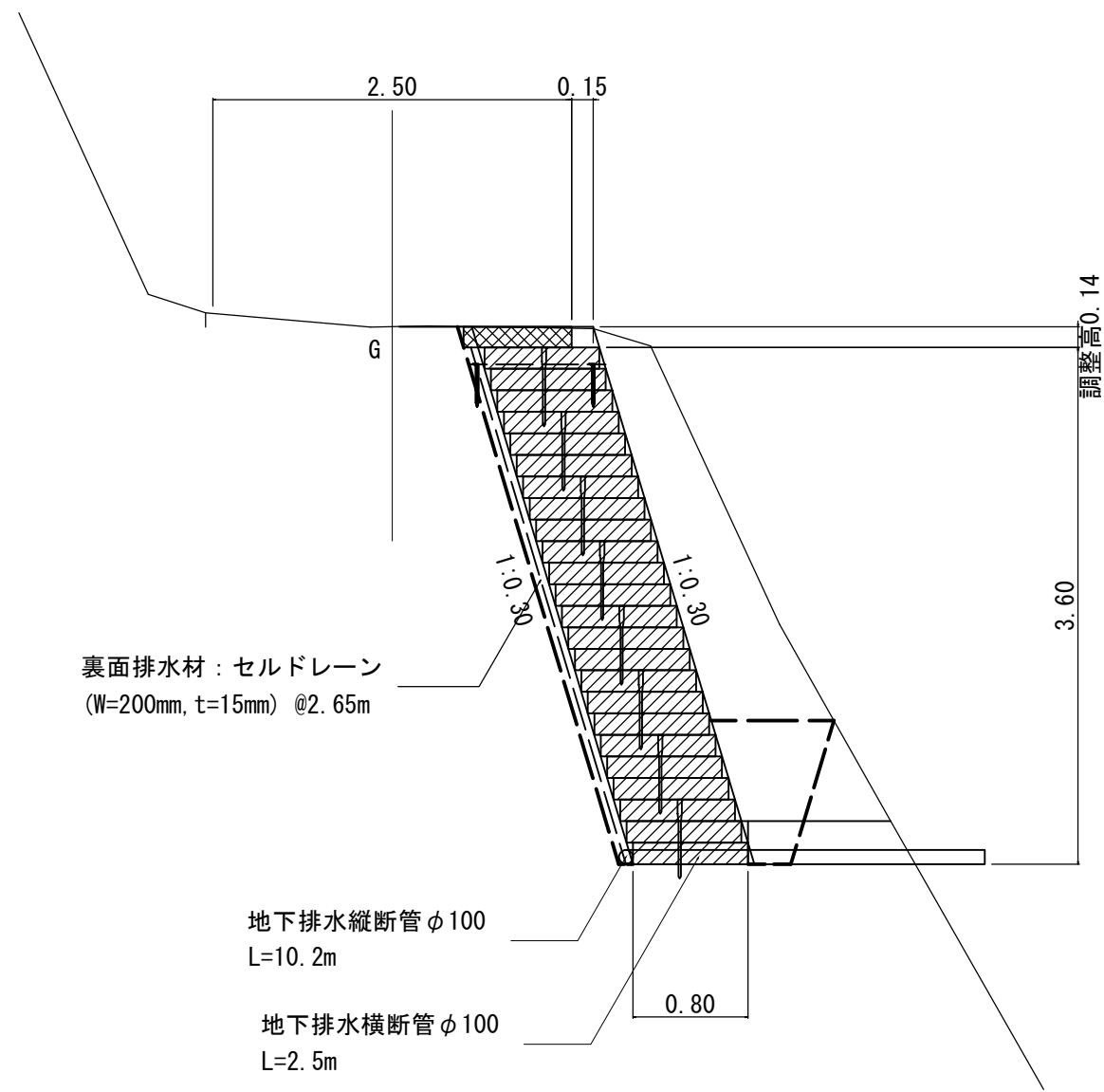
グランドセル工排水計画図

1 工区 1

正面展開図 S=1:50



標準断面図 S=1:50



凡 例	
形 状	種 別
	グランドセル
	裏面排水材



路 線 名	林道間谷線		事 業 名	林道施設災害復旧事業	
林道区分	施 業 道	級別区分	軽車道	設計速度	20 Km/h
年 度	令 和	年 度	施行主体	南 砺 市	
名 称	正面展開図・平面図・縦断面図 1 葉中			1 番	
施 行 地	富山県南砺市川西～和泉地内				
縮 尺	1:100	審 査 者		設 計 者	

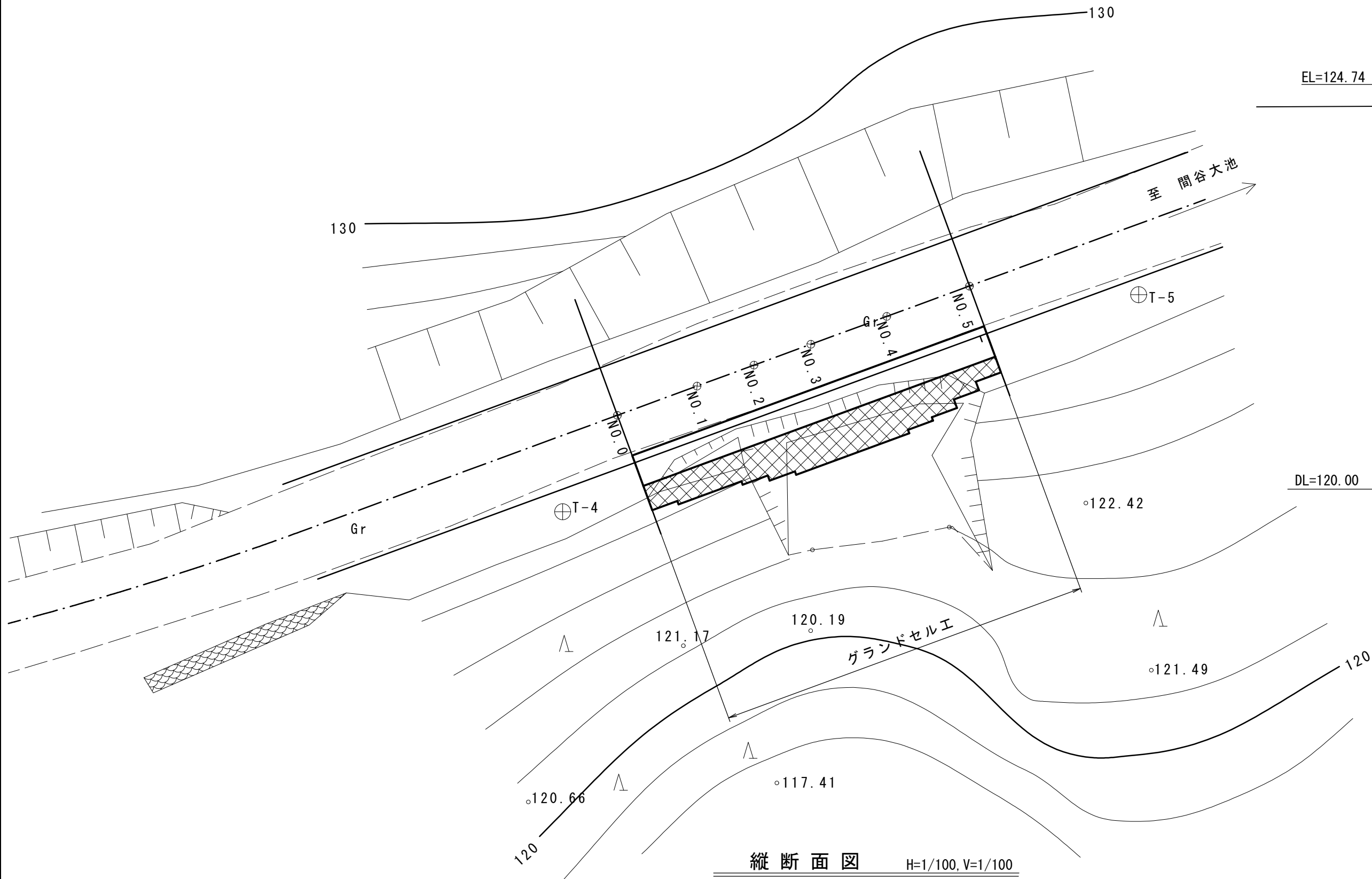
グランドセルエ計画図

1 工 区 2

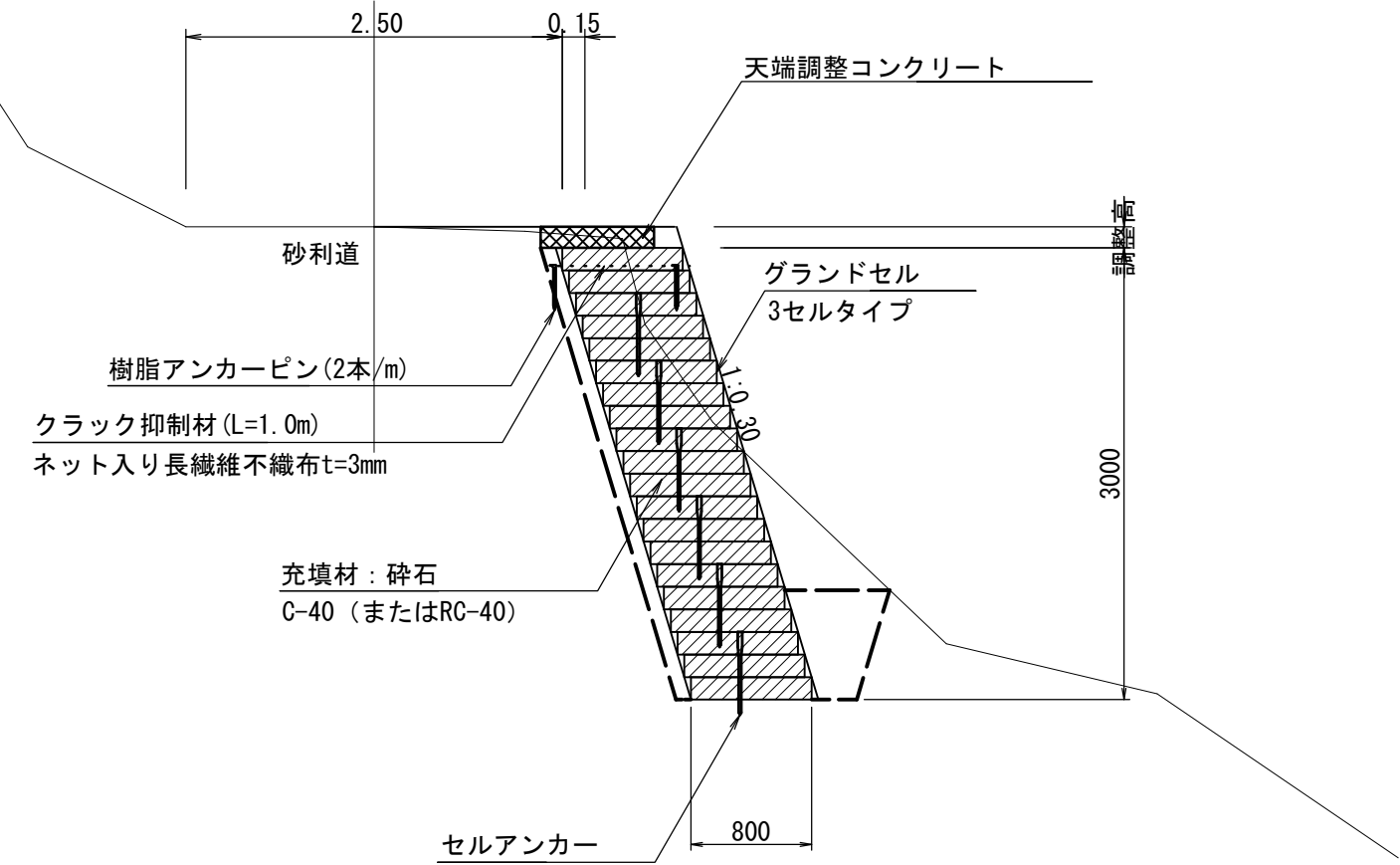
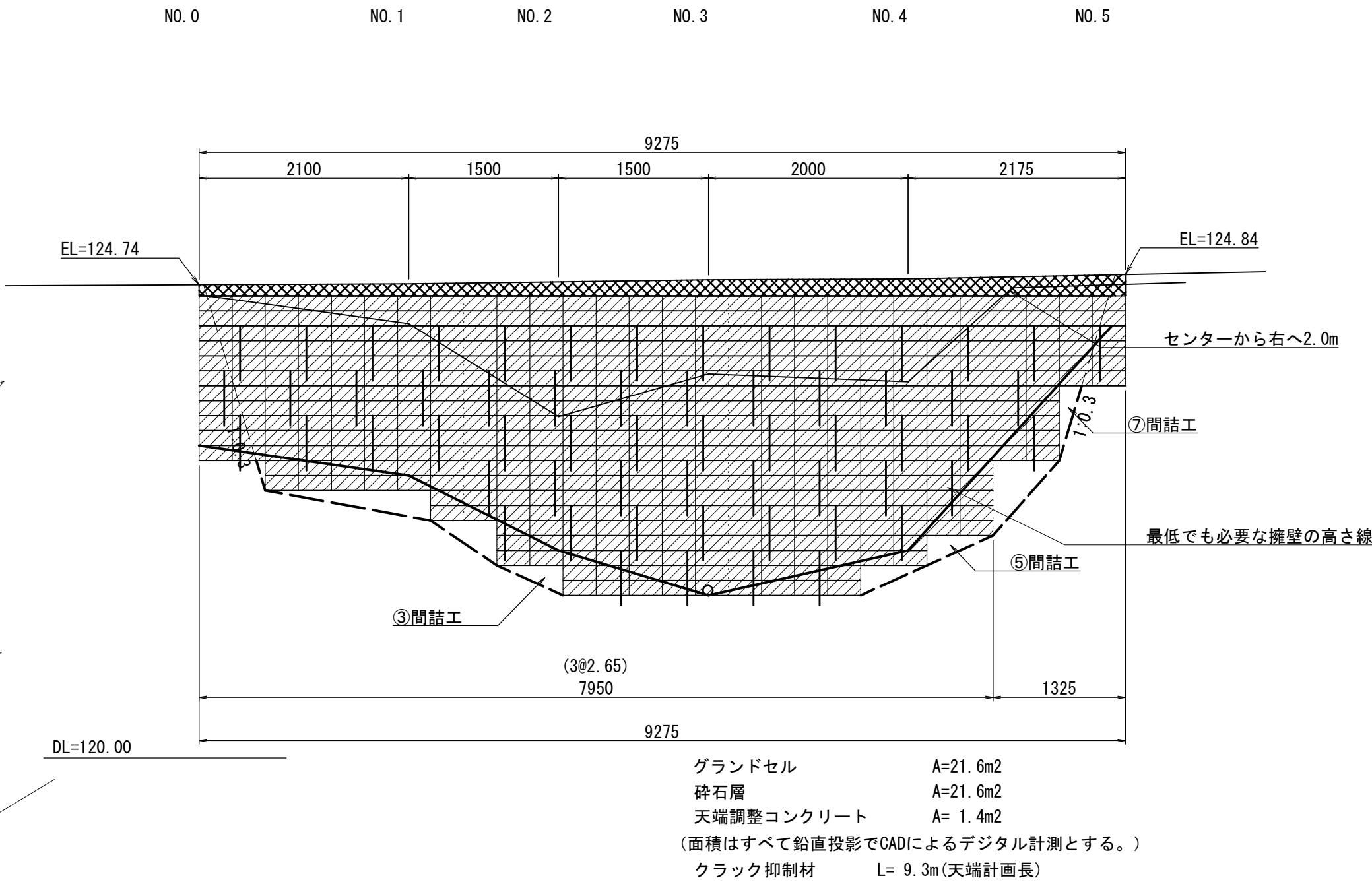
正面展開図 S=1:50

標準断面図 S=1:50

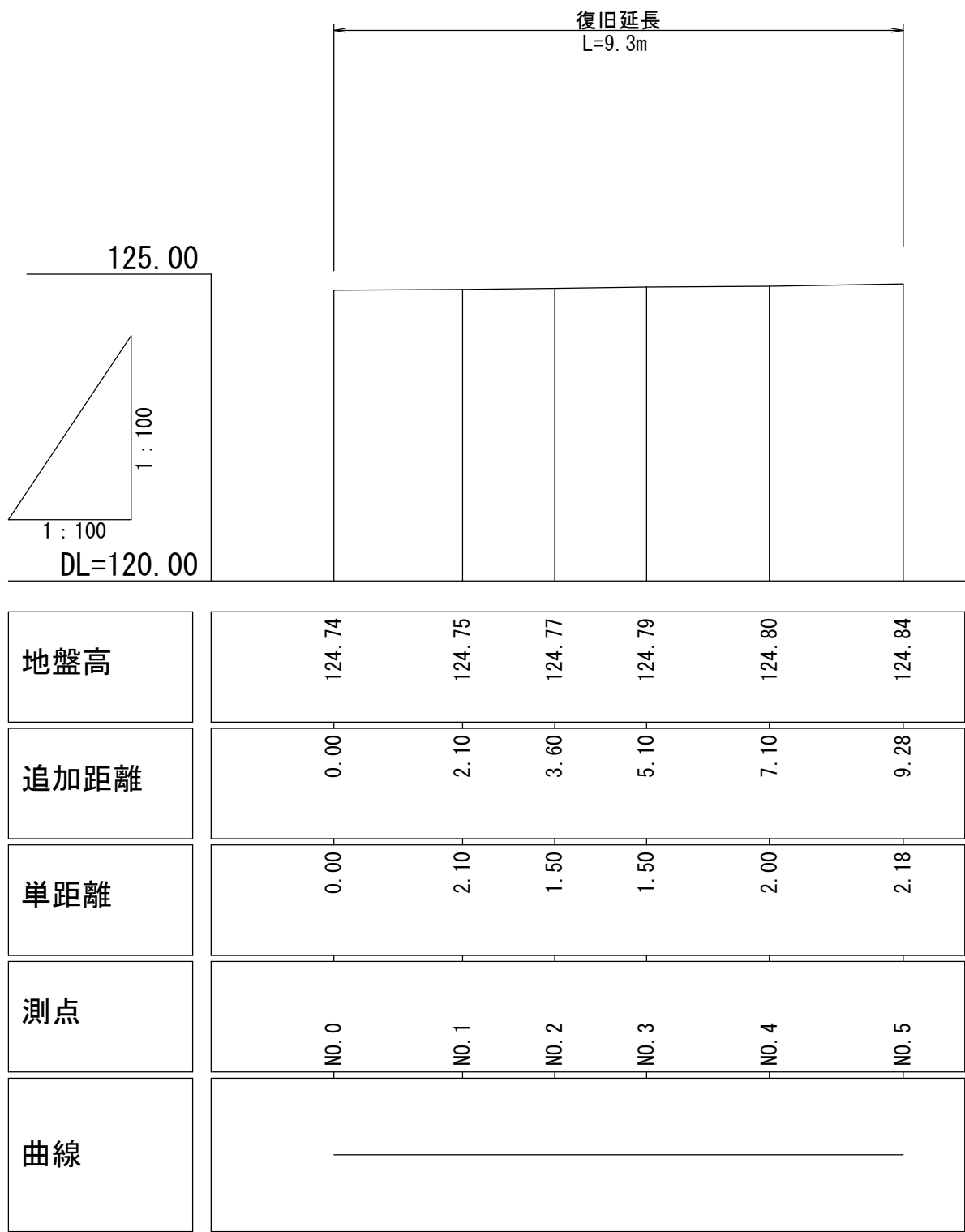
平 面 図 S=1:100



縦断面図 H=1/100, V=1/100



※支持地盤は、調査および試験を行い、構造計算書の支持力を満足すること。



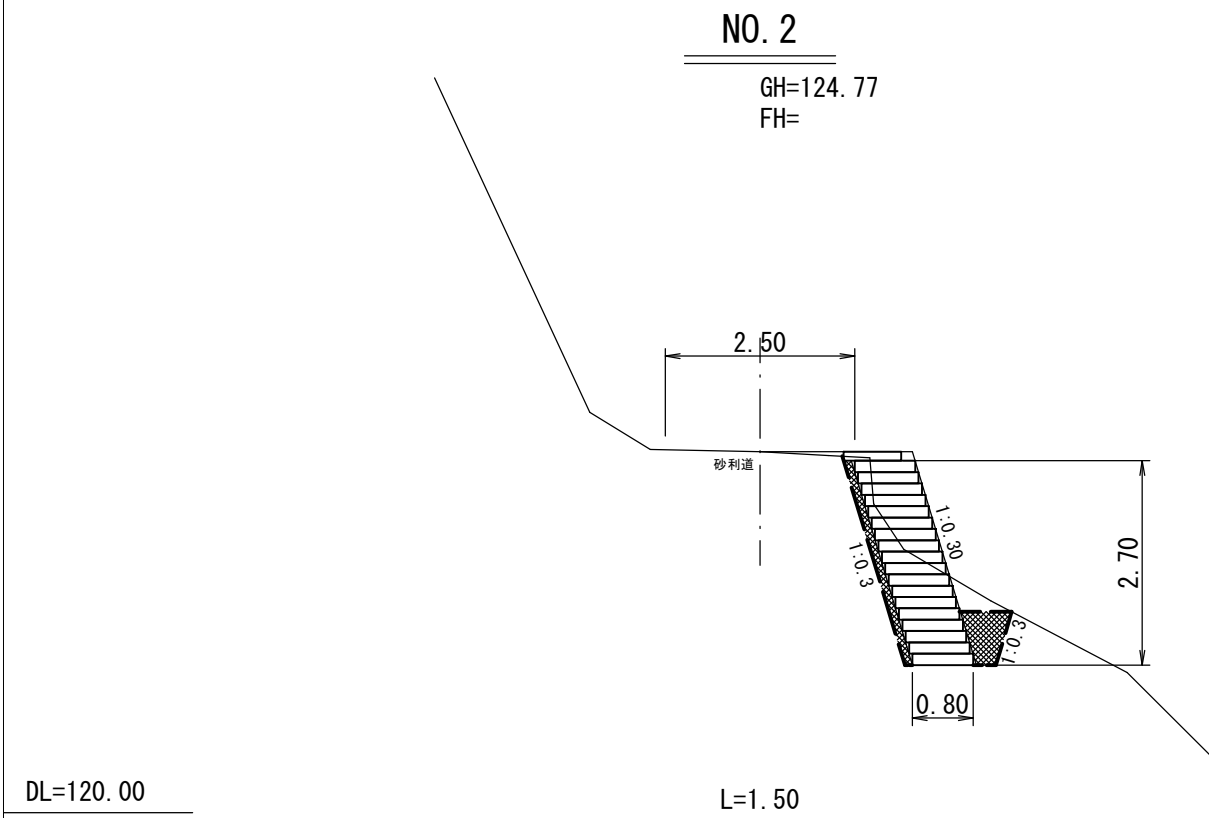
特記事項	NETIS:KT-090023-VE (期間満了によりNETIS掲載終了)
盛土材料	・セル内の締固め密度管理は、乾燥密度で管理する場合は、最大乾燥密度の90% (路体) 以上を満足すること ・セル外の締固め密度管理は、発注機関で定める基準値を満足すること
基礎地盤	・ジオセル擁壁基礎地盤の支持力確認を行うこと ジオセル必要地盤反力 $q = 88.20 \text{ kN/m}^2$ 以上 ・設計条件通りの地層が掘削時に確認できない場合、支持力確認で必要反力が確保できない場合は、置換え、地盤改良、ジオセルマットレス工などで適切な処置が施された地盤とすること
排水工	・適切な排水処理を施すこと ・予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと ・施工中は、仮排水工を設けるなどジオセル擁壁部へ水を導かないように排水処理を行うこと
安全管理	・安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること
グランドセル相互接続部	・公的機関で接続部の試験を実施している製品とする ・ジオセル製品の接続強度は、製品の溶着強度と同等以上とし $2130 \text{ N/15 cm}$ 以上とする
セルアンカー	・摩擦補助のため打設すること。(安定計算では考慮しない) ・配置図に示す本数を打設すること。 ・壁面の連続性および一体化を促進することを目的とする。
グランドセル表面シート	・エンボス加工の表面シートで耐候性を考慮し、色を黒とする

数 量 表			
項 目	規 格	単 位	数 量
壁面工	直高面積	m <sup>2</sup>	22.7
	3セルタイプL2650×B800	枚	57
グランドセル	セルロック	個	399
	□30×550	本	59
セルアンカー	セルドレーン(W=200mm, t=15mm)	m	12.8
裏面排水材	ネット入り長繊維不織布t=3mm	m <sup>2</sup>	9.8
クラック抑制材	□20×300	本	57
樹脂アンカーピン	RE-1	m <sup>2</sup>	34.4
積雪対策工	C-40 (またはRC-40)	m <sup>3</sup>	19.0
砕 石	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.2
天端調整コンクリート	縦断管(φ100有孔管)	m	10.5
	横断管(φ100無孔管)	m	2.5
	ソケット(φ100用)	個	2
	T字継手(φ100用)	個	1
	キャップ(φ100用)	個	2

※壁面工、裏面排水材、不織布、積雪対策工5%、砕石10%、天端調整コンクリート6%のロス含む。

凡 例	
形 状	種 別
	グランドセル
	砕 石 層
	セルアンカー
	天端調整コンクリート

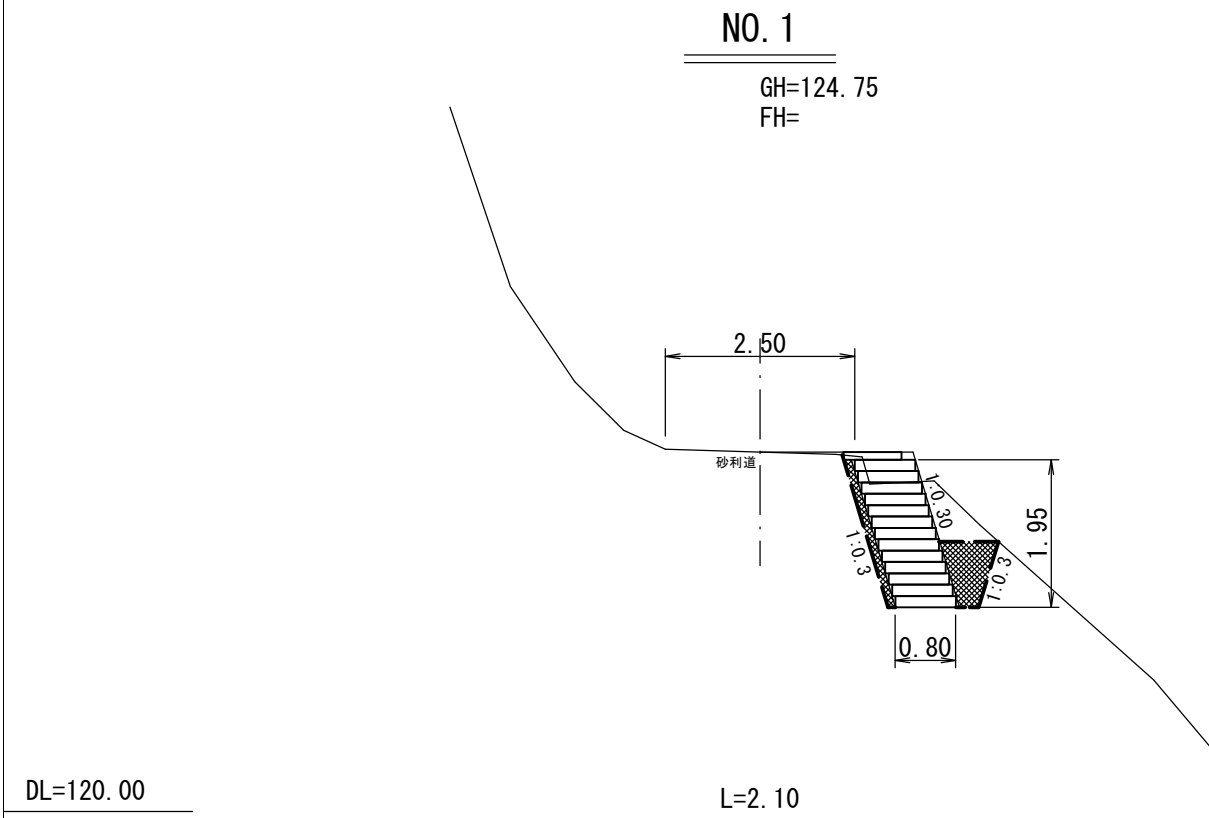
路 線 名	林道間谷線		事 業 名	林道施設災害復旧事業	
林道区分	施 業 道	級別区分	軽車道	設計速度	20 Km/h
年 度	令 和	年 度	施行主体	南 砺 市	
名 称	展開図・横断面図		1	葉中	1 番
施 行 地	富山県南砺市川西～和泉地内				
縮 尺	1:100	審 査 者		設 計 者	



切土高		m
盛土高		m
掘削土砂	オープン	m2
	機械	m2
盛土	路体	m2
	路床	m2
法面	切土	m
	盛土	m
舗装	コンクリート	m
	路盤工	m

ジオセル積層工法		
擁壁工	床掘(土砂)	2.2 m2
	埋戻	0.6 m2

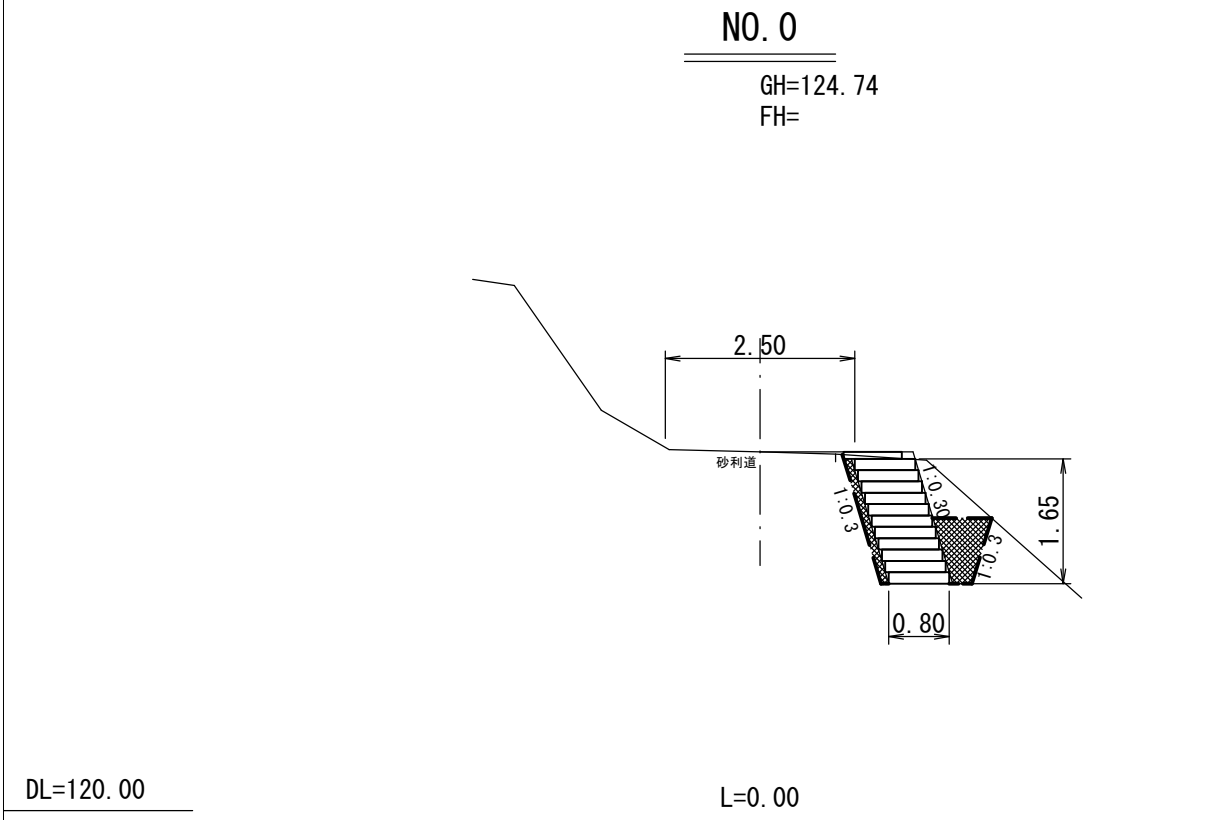
埋戻しエリア凡例



切土高		m
盛土高		m
掘削土砂	オープン	m2
	機械	m2
盛土	路体	m2
	路床	m2
法面	切土	m
	盛土	m
舗装	コンクリート	m
	路盤工	m

ジオセル積層工法		
擁壁工	床掘(土砂)	2.5 m2
	埋戻	0.6 m2

埋戻しエリア凡例

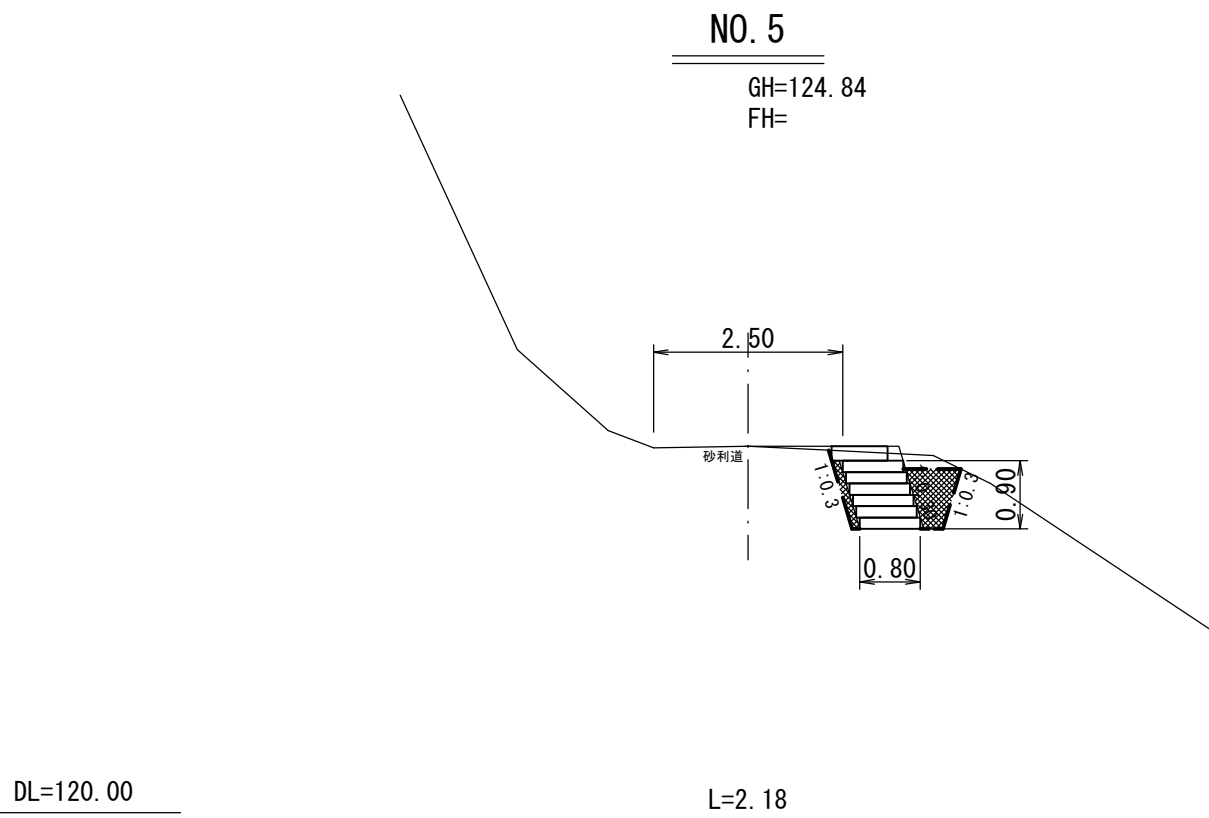


切土高		m
盛土高		m
掘削土砂	オープン	m2
	機械	m2
盛土	路体	m2
	路床	m2
法面	切土	m
	盛土	m
舗装	コンクリート	m
	路盤工	m

ジオセル積層工法		
擁壁工	床掘(土砂)	2.4 m2
	埋戻	0.6 m2

埋戻しエリア凡例

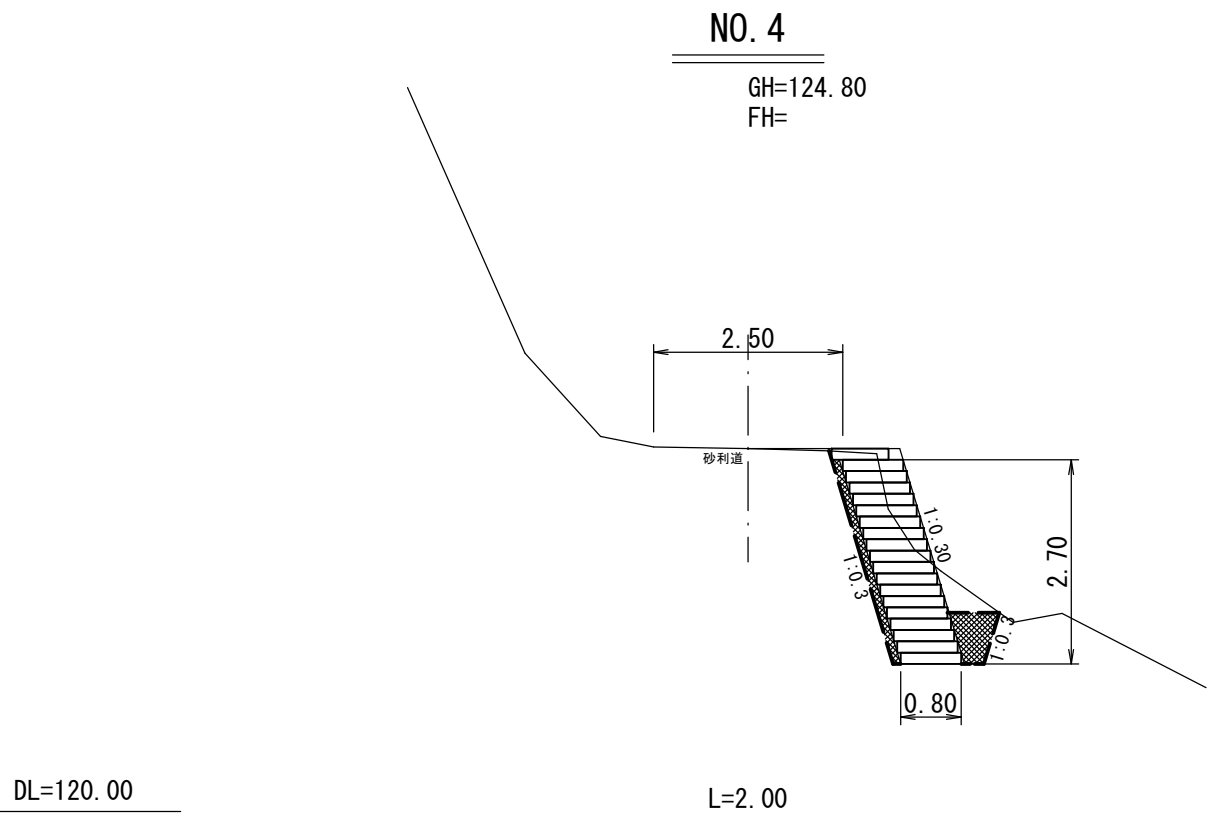
## 1 工区 2



切土高		m
盛土高		m
掘削土砂	オープン	m2
	機械	m2
盛土	路体	m2
	路床	m2
法面	切土	m
	盛土	m
舗装	コンクリート	m
	路盤工	m

ジオセル積層工法		
擁壁工	床掘(土砂)	1.5 m2
	埋戻	0.5 m2

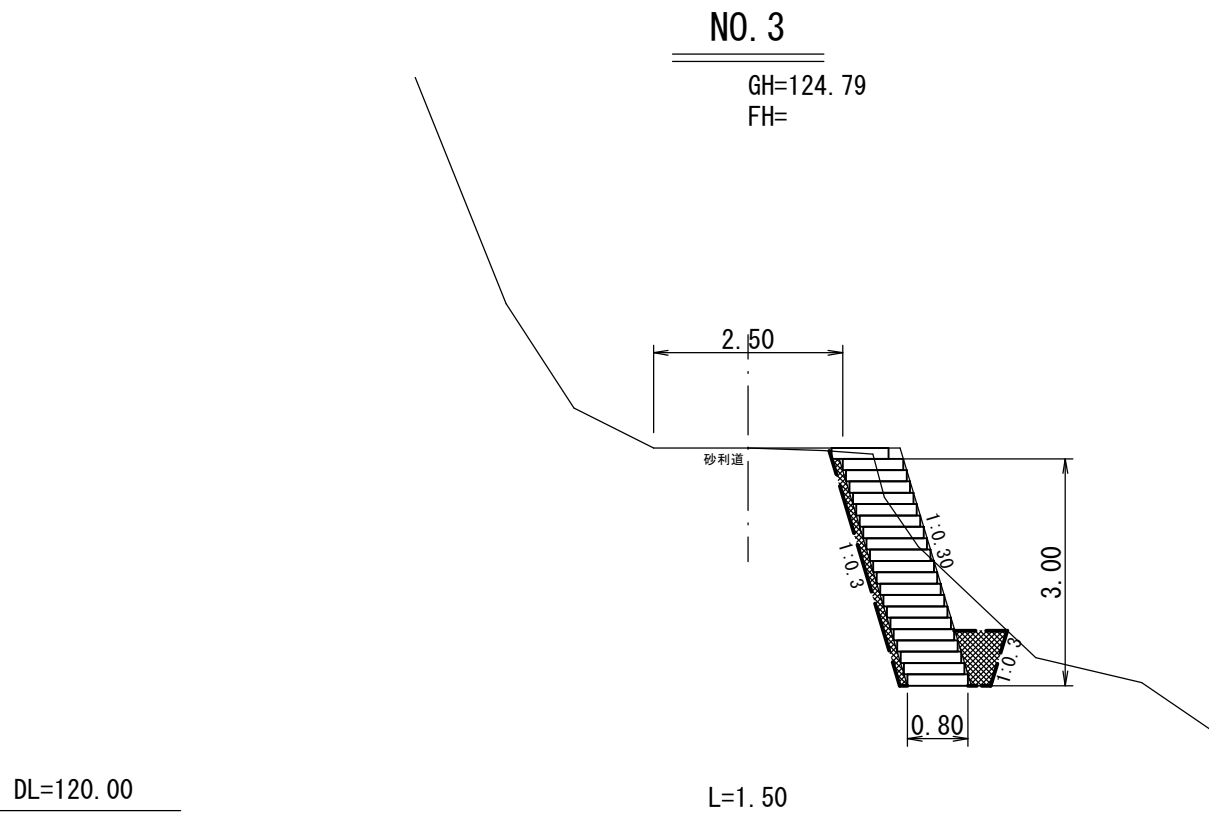
埋戻しエリア凡例



切土高		m
盛土高		m
掘削土砂	オープン	m2
	機械	m2
盛土	路体	m2
	路床	m2
法面	切土	m
	盛土	m
舗装	コンクリート	m
	路盤工	m

ジオセル積層工法		
擁壁工	床掘(土砂)	2.7 m2
	埋戻	0.6 m2

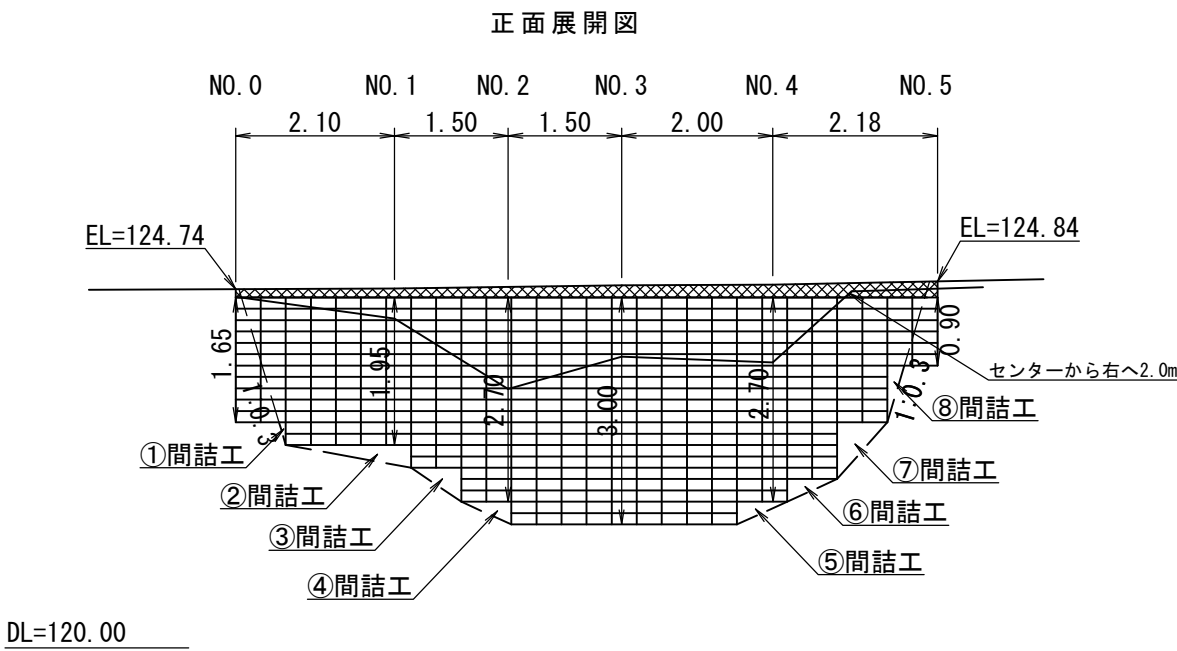
埋戻しエリア凡例



切土高		m
盛土高		m
掘削土砂	オープン	m2
	機械	m2
盛土	路体	m2
	路床	m2
法面	切土	m
	盛土	m
舗装	コンクリート	m
	路盤工	m

ジオセル積層工法		
擁壁工	床掘(土砂)	3.1 m2
	埋戻	0.6 m2

埋戻しエリア凡例









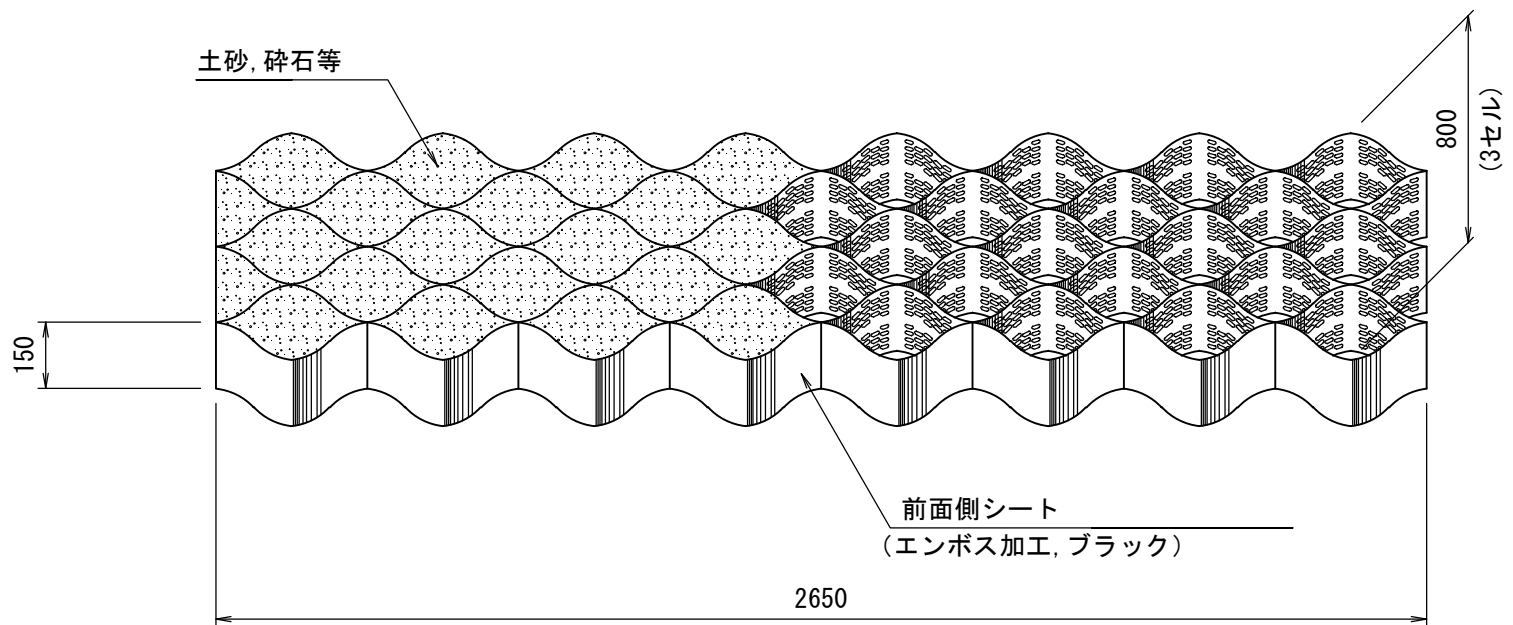


路 線 名	林道間谷線		事 業 名	林道施設災害復旧事業	
林道区分	施業道	級別区分	軽車道	設計速度	20 Km/h
年 度	令和 年 度		施行主体	南砺市	
名 称	グランドセル工詳細図			1 葉中	1 番
施 行 地	富山県南砺市川西～和泉地内				
縮 尺	図示	審 査 者		設 計 者	

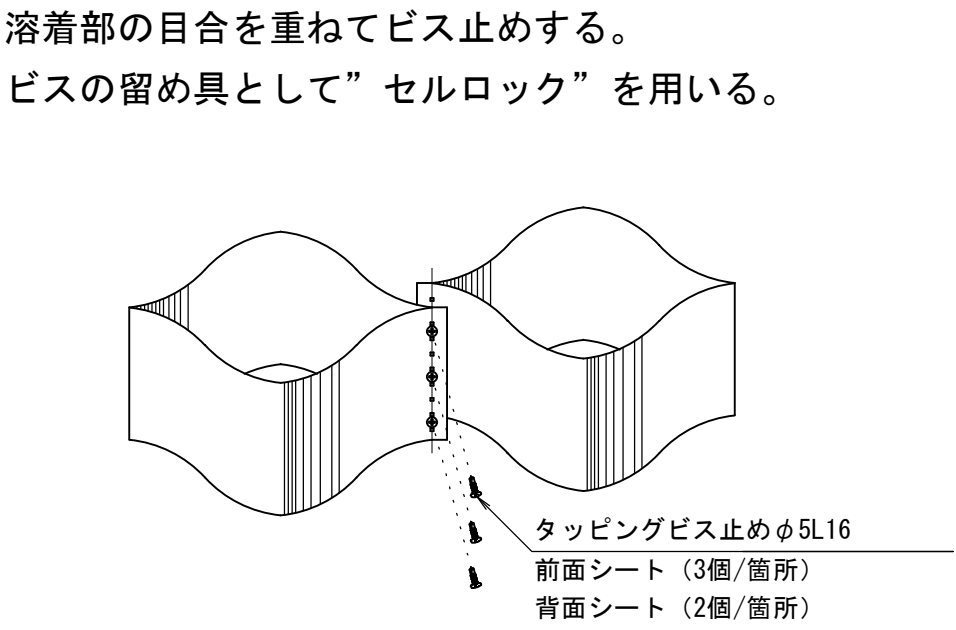
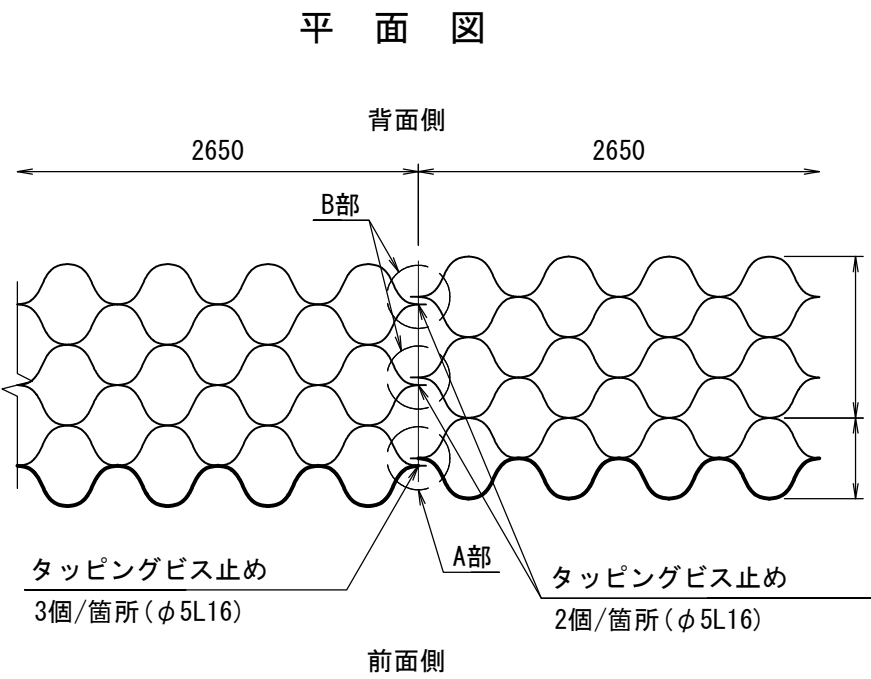
グランドセルエ詳細図

1 工区共通

グランドセル形状図

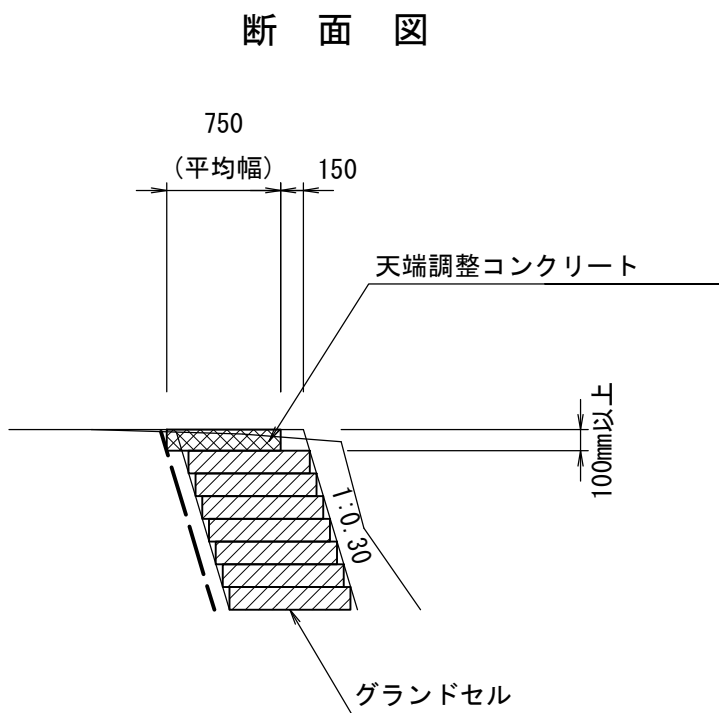


グランドセル相互接合部詳細



天端調整コンクリート詳細図

S=1:50

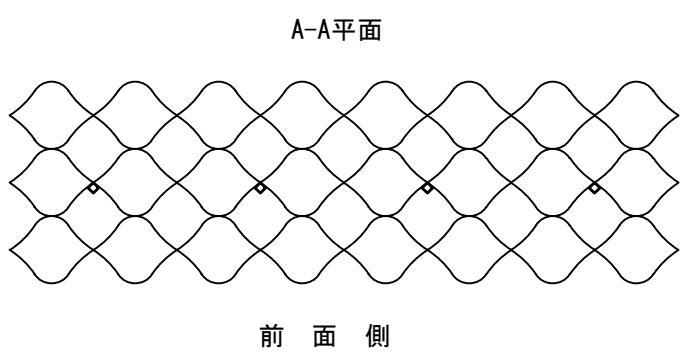
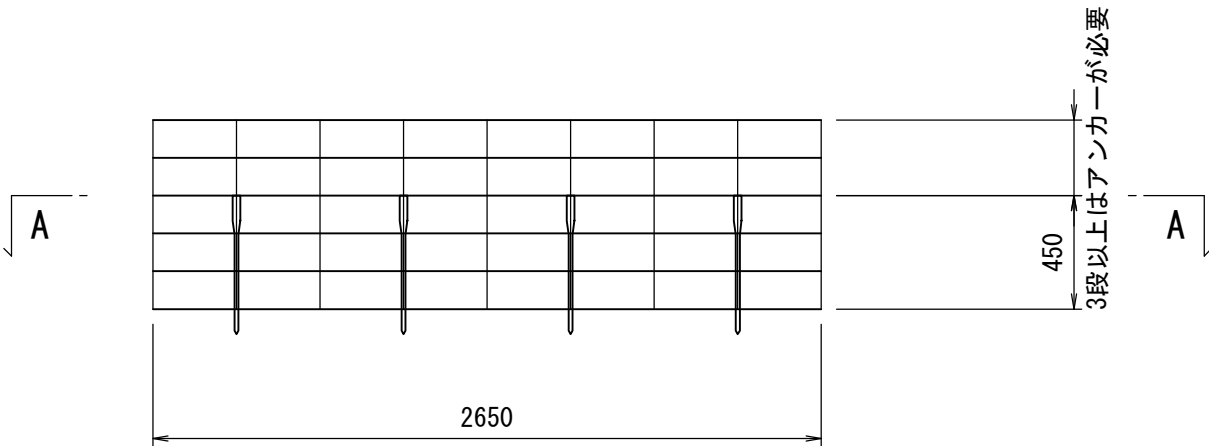


セルアンカー打設詳細図

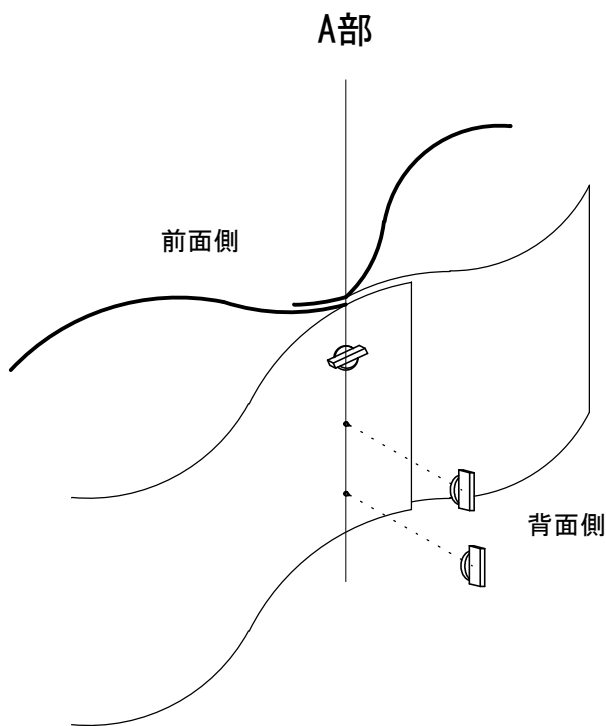
S=1:30

正 面 図

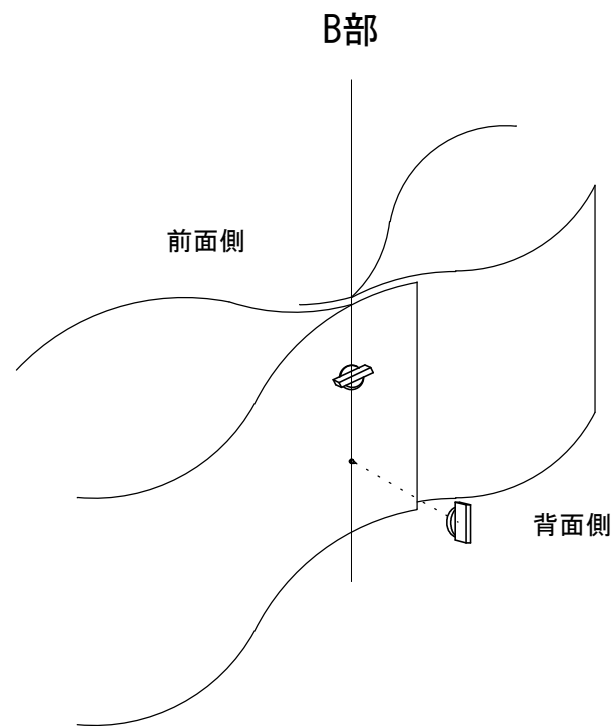
平 面 図



前面シートセルロック取付図



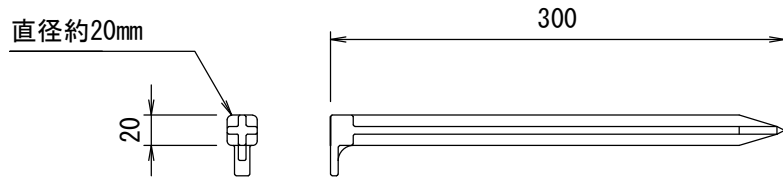
背面シートセルロック取付図



樹脂アンカーピン

材質：ポリプロピレン（再生品）

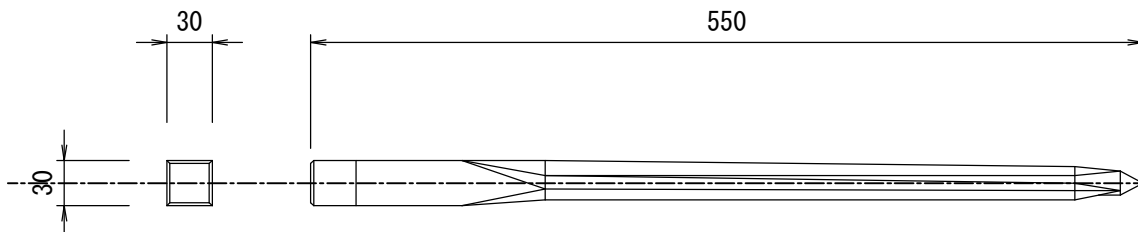
S=1:5



セルアンカー

材質：ポリプロピレン（再生品）

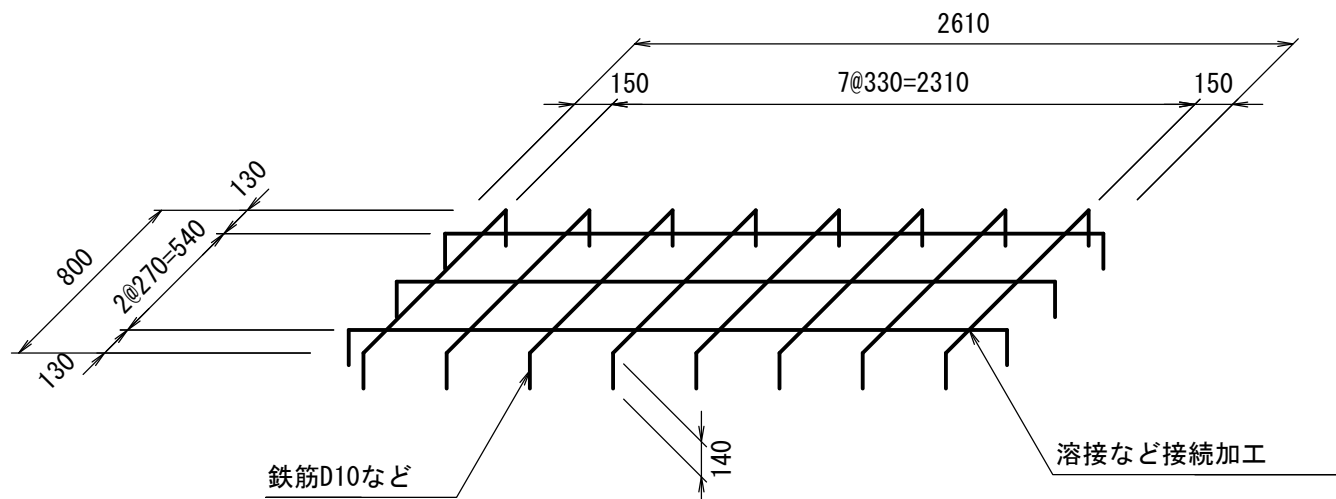
S=1:5



グランドセル展開補助枠(参考)

(D10鉄筋を使用した場合)

S=1:30



注意）補助枠は、現地にて準備するものとする。

セルロック

材質：高密度ポリエチレン

S=1:1

